

「平成 26 年度 都道府県対抗 Jr オールスター大会に参加して」

登別市立緑陽中学校 バasketボール部
堺 陸駆

僕は 1 月に行われた 2 次合宿を終え、北海道選抜に選ばれ「東日本大震災復興支援第 28 回都道府県対抗 Jr バasketボール大会 2015」に参加してきました。東京体育館をはじめとする東京都近郊で行われました。一番最初に驚いたのは、この大会は東日本大震災復興支援も兼ねているということです。この大会は震災で 1 回中止されています。自分がこの大会に出られるというありがたさを、改めて実感しました。次に驚いたのは大会規模の大きさです。会場に入るのに選手とコーチはそれを証明するカードがないといけなく、これまでに経験したことのない規模でした。

予選リーグ 1 試合目に広島戦で感じたことは、相手がどれだけ勢い付いても自分たちのバスケットを冷静に続けることです。この試合の 2Q 中盤、自分たちは 10 点リードだったにも関わらず相手に 3P シュートを 5 本連続で決められ流れに乗られてしまいました。しかし、自分たちのバスケットを冷静に続けられたこと、北海道のシューターが落ち着いて 3P シュートを 2 本連続で決め返してくれて勝つことができました。2 試合目の山形戦で感じたことは、ベンチの応援も試合の結果を左右するという事です。この試合はみんな絶好調だったこともあって、ベンチの盛り上がりも最高潮に達していたので、最初から北海道のペースで試合が進んで行き、勢いは止まらず快勝することができました。

2 日目の決勝トーナメント 1 回戦の山口戦は東京体育館で行われみんなとても緊張しました。そのせいもあって、この日はみんな不調で敗れてしまいました。k の試合を通して、スラムダンクで有名な「リバウンドを制する者は試合を制す」という言葉の重要性を始めて実感しました。DF リバウンドは取れたものの、いつも北海道の流れを持ってくる OF リバウンドはほとんど取れず、最後まで山口のペースで試合を進められてしまったことが敗因だったと思います。今後、自分のチームでもリバウンドの意識を高めていけるよう頑張っていきたいです。

最後に、熱心にご指導して頂いたスタッフの先生方、毎週、札幌近郊まで送迎してくれたり、遠征費を出してくれたお父さんお母さん、そして各地で応援をしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。今回、学んだことを室蘭地区、緑陽中学校に持ち帰って全国の場に戻れるよう頑張ります。

平成 27 年 3 月